

合併後10年間の時を経て、政策分野別に綴る

競艇事業部編

これまでの歩みと これからの津市のまちづくり

ボートレース津は、昭和27年に全国で初めて認可を受けた歴史のあるボートレース場です。多くのファンの皆さんに支えられながら、現在、年間192日、白熱したレースが繰り広げられています。

モーターボート競走事業の目的は、一般会計への繰り出しによる市財政への貢献です。平成15年度までに約805億円を繰り出し、学校や保育園の施設整備、下水道や街路整備などの公共事業に充ててきました。

その後、スタンド棟の建て替えによる債務償還の負担などにより繰り出しができない時期が続きましたが、平成23年9月の外向発売所「津インクル」の開設、平成24年2月の対岸大型映像装置の更新、平成25年11月のSGチャレンジカップ競走の開催など経営力の強化に向けた積極的な取り組みにより、平成28年度には12年ぶりに繰り出しを再開しました。

これからも、長期的な視野に立った収益性の向上や計画的な施設整備に取り組み、ファンに親しまれるボートレース津として、津市の魅力あるまちづくりに貢献していきます。

広大な水面から迫力あるレースが楽しめます



A指定席
清潔感あふれる施設内



水上で繰り広げられるスピード戦



ツッキードーム
さまざまなイベントを開催!



エントランス
子どもも楽しめる企画が充実

レースの他にも多彩なイベントで皆さんをお迎えしています

H18

▶市町村合併により、新津市として、モーターボート競走事業を開始

H19

H20

▶G I 女子王座(現在のレディースチャンピオン)を開催
売り上げ：約101億2千万円

H21

H22

▶外向発売所「津インクル」オープン

H23

国道23号沿いにある津インクルでは、全国で開催されるレース(7時30分～ナイターレース終了)を年間最大360日発売!



▶ボートレース津



▶G I 女子王座表彰式



▶津インクル